

# 第21回大牟田市消防団ポンプ操法大会



大牟田市消防団広報紙

しよらぐん  
だより  
だより

第5号

2015年12月発行

発行：大牟田市消防団予防委員会



第21回大牟田市消防団ポンプ操法大会が8月23日笹林公園で行われました。2年に1回行われるこの大会は、前回の開催日及び予備日ともに雨で開催することができなかつたため、4年越しの大会開催になりました。今大会は、自動車の部11分団、小型の部9分団で競われました。

## 自動車の部

優勝 羽山台分団

2位 白川分団

3位 平原分団



## 小型の部

優勝 上官分団

2位 三池分団

3位 銀水分団



### 大会講評 回本部 副団長 杉野 和則

前回の市内操法大会は、雨天中止の為に2か月に及ぶ厳しい訓練の成果を出せずに終わりました。4年ぶりの今大会では、天候にも恵まれ市長をはじめ多くの来賓の方々を迎え、無事開催することができて本当によかったと思います。

大会本番では、どの分団も全力で取り組み健闘しましたが、力を出し切れず残念な結果に終わった分団もありました。しかし、これまでの努力はすべて必ず現場に生かせるものと思えます。選手の皆様にお疲れさまでした。各関係者の方々にもお礼申し上げます。

来年は可搬ポンプでの県大会出場となります。今回の訓練を糧とし優勝を目指し練習に励んでいきたいと思えます。



羽山台分団 指揮者 池田 宗久  
羽山台分団では、新人育成の目的で新人をポンプ車操法大会の選手に抜擢します。私は、5月に入団した新人で指揮者を任せられ、規律訓練についていくだけでも大変でした。訓練では、サポートの皆さんの温かい指導や協力によって訓練に集中できたことで優勝できました。今後は学んだことを生かしつつ、実際の消火活動でも安全かつ迅速に行動し、さらに経験を積み重ね市民の生命・財産を守れるように頑張っていきたいです。

### 上官分団 一番員 緒方 彩人

操法大会を終えて私が一番感じた事は、大会当日まで朝練・夕練と時間を割いてサポートして支えて下さった方々への感謝の気持ちです。操法の訓練は、消防団活動の中で一番長くにわたり続きます。サポートや署員の方々から知識・経験を身に着け、何より「絆」を作り上げることができたと思います。消防団の活動能力を競い合う大会に出場することで得たことを分団全員で大切にしていききたいと思います。

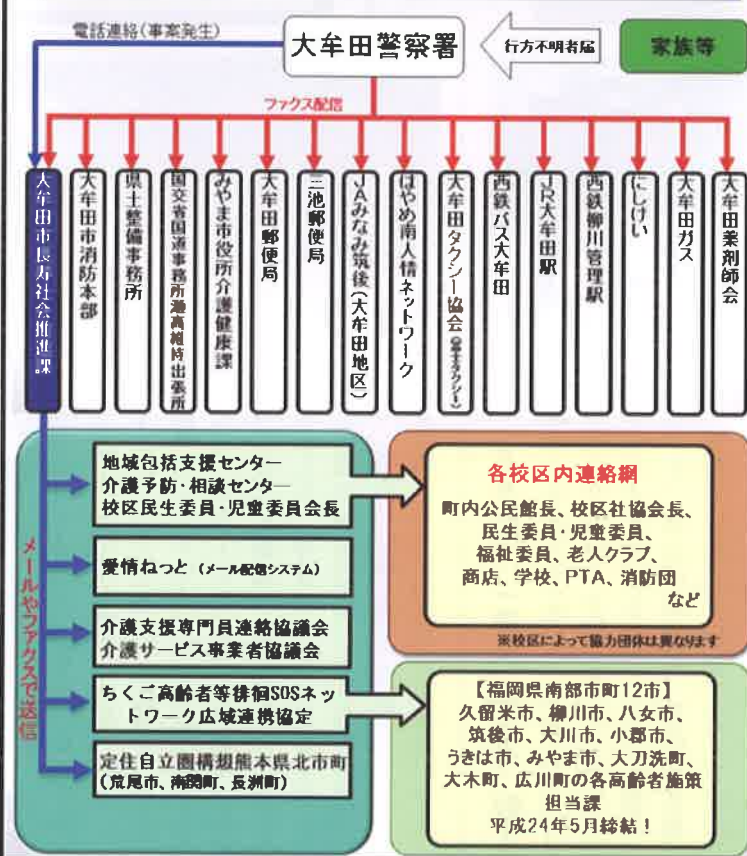


# 大牟田市総合防災訓練



8月30日(日)に大牟田市総合防災訓練が明治小学校で開催されました。この訓練は、災害時の防災体制を万全にするため、防災関係機関及び住民の協力を得て地震・大雨等による災害を想定し、情報の収集・伝達、市防災対策本部設置、被災地調査、避難誘導、救出救助、医療救護、火災消火、救援物資の輸送、給水給食等の各訓練を総合的に実施されました。消防団員は、土のう積みを行い、女性団員は自衛隊と合同で、災害時の炊き出しを行い、カレーライスが参加者にふるまわれました。

## 大牟田地区高齢者等SOSネットワーク



## 認知症SOSネットワーク模擬訓練



9月20日(日)に大牟田市全体で「認知症SOSネットワーク模擬訓練」が開催されました。この取り組みは、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指して、地域住民との協働による訓練であり、大牟田市消防団も各分団の地域において模擬訓練に参加しました。



# 全国秋季火災予防運動

11月9日(月)～15日(日)は、全国秋季火災予防運動で期間内は、各分団消防車等で地域を巡回し、予防の啓発・啓蒙運動を行いました。また、女性分団は、イオン・ゆめタウンでアンケートとチラシを配布し、火災予防を呼びかけました。



## 地域防災啓発訓練

11月15日(日)羽山台校区において署団合同で建物火災を想定した模擬訓練を行いました。当日は、東部方面隊が中心となり実際の火災さながらに無線による連絡系統の確認と放水訓練が行われました。



## 住宅用火災警報器

各ご家庭で設置している機種によって異なりますが、住宅用火災警報器の電池の寿命は5～10年と言われております。定期的な作動確認を行いましょ。また、古くなると電子部品の寿命などで火災を感じしなくなることがあるため、10年を目安に交換をお勧めします。

住宅用火災警報器は、**10年**を目安に**交換**をおすすめします!

New



Old

10年たったら、**とりかえ**。  
お宅の**火災警報器**の話です。







# 団長挨拶 堺 蔵次

平成27年も残りわずかととなりました。大牟田市では、大きな災害はありませんでしたが、火災により尊い命がなくなりました事に、ご冥福をお祈り申し上げます。

今年度の新入団員式では47名の若人が新団員として仲間入りしました。それぞれの所属分団で分団長ほか先輩団員の指導を受け、一日も早く一人前の消防団員となって活躍して頂きたいと思えます。

私たちは、消防団として市民の安心安全に尽力する決意を新たにしております。最近の気候変動で、いつ・どこで大規模な災害が発生するかわかりません。災害の予防と減災に向け、常に気を引き締め、組織の強化と訓練の充実に努めなければなりません。新春の「出初式」では新たな訓練の展示があり、厳正な規律と旺盛な士気を高める手立てだと思っております。どうか1月10日(日)に文化会館・笹林公園で開催される「出初式」をご覧いただき、共に大牟田市の安心安全を考えていただければと思います。

# 消防団員募集!!

男女不問

大牟田市消防団では、消防団員を募集しています。消防団員は、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動や救助活動を行う特別地方公務員です。昨年度消防団に入団した4名にインタビューしてみました。

## 新入団員 Q&A

- ① 入団したきっかけは？
- ② 入団した感想は？
- ③ どういう活動をしていきたいか



玉川分団 西山 敦士

- ① 義理の父が消防団であり、半強制的に入団させられました。
- ② 団員の方々と交流していくうちにやりがいのある事と気づきました。
- ③ 地域はもちろんです、大牟田市民の皆さんに貢献できるように頑張りたいと思います。



手鎌第5部 楠生 利樹

- ① 消防団の活動をしている先輩にあこがれを持ち誘いもあったことから志願して入団しました。
- ② 地域の方々と交流が楽しく様々な職種の人達と関わりが持て心身共に充実しています。
- ③ 大牟田市民の為に安心出来る暮らしのお手伝いをしていきたいです。



大正分団 廣瀬 将大

- ① 消防士になりたくて今、糧になるものとして入団しました。
- ② 大正分団の皆さんに良くしてもらってうれしく思います。感謝しています。
- ③ 消防団員として地域住民の方々のために役に立つような活動をしていきたいです。



女性分団 水永 麻衣

- ① 父が消防団員でその姿にあこがれて入団しました。
- ② 人のためにできることが素晴らしいと思います。
- ③ 女性にしかできないようなサポートを市民のためにしていきたいと思っています。

# 今後のスケジュール

- ★ 年末夜警  
12月29日(火)・30日(水)
- ★ 消防出初式  
1月10日(日)
- ★ 春季火災予防運動  
3月1日(火)～7日(月)
- ★ 消防団献血  
3月13日(日)
- ★ 新入団員式  
4月中旬予定
- ★ しよう太くんだより  
第6号発刊(5月予定)



## 編集後記

本年は、新入団員の増加に伴い消防団活動の更なる活力量向上に繋がると思われます。また、各ブロック方面隊の訓練や署団合同の訓練の実施等も異常気象による大雨や多発する地震などの災害に備えて、益々事前対応策が必要になると感じております。

最後に、この「しよう太くんだより」が消防団活動の意識向上に繋がりますように紙面になるよう取材等頑張つてまいりますので、皆様の情報提供等ご協力をお願い致します。

ただいまホームページは工事中です!!  
リニューアルまでしばらくお待ちください。

